

1月の講座あれこれ

第5回学習講座

ジュニアお楽しみ学習「書き初め会」を
1月5日に開催しました



毎年恒例の書き初め会です。



書画クラブの皆さん
的確なご指導を有難うございました。

スマートフォン講座

動画でわかるコンビニ交付説明会を
1月15日に開催しました



この講座は総務省デジタル活用支援事業（地域連携型）の実施団体であるMXモバイリング（株）と米子市が協力して実施しました。
皆さん真剣に取り組んでおられました。



市役所の市民一課、市民二課の職員さんによる「動画でわかるコンビニ交付説明会」を開催しました。動画を見た後、わからないことは直接質問しました。

ほっとひといき ㊦ ㊥

震災デマは怖くない

崎津地区人権・同和教育推進協議会 会長 徳永哲郎（7区）

大地震と空港事故の年明け。誰もが「今年は一体どうなる?」と不安でしょうが、こんな時こそデマを見抜き、差別や偏見に立ち向かわなければならないと思います。

こんなに科学が進んでいるのに、13年前の東日本大震災では「外国人窃盗団が横行」というフェイク情報が流れ、信じた人が8割を超えたと言います。7年前の熊本地震では「動物園からライオンが逃げた」という情報が写真付きで拡散。今回の能登半島地震では、ある女性から「息子が挟まれて動けない」と住所・氏名つきで投稿があり、警察等が確認した所、女性には息子はおらず人的被害もなかったとのことです。

私はフェイク情報を発信しない自信がありますが、情報の真偽を見抜く自信はありません。そこで、「NHK みんなでプラス」内の「みんなのネット社会」というサイトに投稿された小木曾健さん(大手IT企業の情報教育部門責任者)の「震災デマに惑わされるな」という文章を読みました。以下その要点です。

『手順を踏んで確認すればすぐフェイクを見破れる。』

- ① 科学的にありえない「明日大地震が発生するらしい」「今回の地震は〇〇の陰謀」…
- ② 情報源が曖昧で続報がない「友人から連絡があり〇〇駅で電車が転覆したらしい」「〇〇地区は今夜から断水と自衛隊から聞いた」…
- ③ 画像付き 怪しい画像はネットから借用しており、画像検索すれば容易に同じ画像が見つかる



「城址から崎津を望む」(2024.1.14)